

せとうち半導体共創コンソーシアムの設立について

令和5年2月28日

1 背景・目的

中国地域半導体関連産業振興協議会では、中国地域の中期的な半導体関連産業の集積強化の方策を検討し、地域企業のビジネス機会や人材育成及び雇用を増やし、地域の活性化を推進することを目的として、半導体人材の育成などに取り組むこととしている。

このたび、半導体に関する高度な専門知識を有し総合的な立場から俯瞰してマネジメントを担うことのできる人材の育成が必要となっていることを踏まえ、こうした中核人材の育成と産学連携による研究開発を促進するために、広島大学ナノデバイス研究所を核として、半導体関連企業や行政機関の産官学で構成する「せとうち半導体共創コンソーシアム」を今春に設立する。

2 せとうち半導体共創コンソーシアムの概要

設立時期：令和5年3月設置、4月より本格稼働

参加団体：ローツェ(株)、マイクロンメモリジャパン(株)ほか約11社、広島大学(正会員)、広島県、東広島市(特別会員)など(※設立時)

事業概要：国内でも有数のデバイス試作ラインを備えたスーパークリーンルームを持ち、長年にわたって半導体の研究開発及び人材育成に取り組んできた広島大学の強みを活かし、最先端の半導体製造プロセスに貢献する半導体関連企業の技術開発や革新素材による新デバイスなどの「研究開発」と、半導体業界の将来を担う「中核人材の育成」を両輪として事業を実施する。

3 人材育成に係る実施事業(予定)

項目	内容	実施予定時期
①社会人と学生を対象とした中核人材育成プログラム		
半導体 CMOS 実践プログラム	・CMOS 集積回路の試作実習を通じて、半導体プロセス技術や評価技術など基本技術全般を学ぶ。 ・年1回、約20人×2コース(3日 or 6日)	継続実施 (体制の充実に合わせて拡充)
半導体 CMOS 実践アドバンスドコース	・最先端の専門知識と課題解決につながる研究開発能力をグループ研究方式で育成する。 ・期間1年、約20人(10回~11回)	令和5年度より随時実施
②高等学校及び高等専門学校との連携による半導体人材育成の早期育成プロジェクト	・半導体の仕組みを理解するとともに(高校)、大学院編入レベルの研究開発能力を身につける(高専)ための事業を実施する。 ・年1回、約20人(高校) 期間1年×若干名(高専)	高校は継続実施、高専は令和5年度に調整し令和6年度より随時実施
③海外の有力大学(米国アリゾナ州立大学、ボイシ州立大学等)との連携プログラム	・日米の大学連携により新たな半導体人材育成プログラムを開発し実施する。	調整中 (令和5年度より随時実施)
④参加企業による技術セミナー、合同シンポジウム	・参加企業の最新技術の紹介や共同研究の成果の共有、発表の場や交流の場を設け、コンソーシアムの発展を目指す。	検討中 (令和5年度より随時実施)
⑤博士課程進学も含む専任教員によるキャリアアップ相談	・スキル及びキャリアアップを求める人材や競争力の向上を希望する企業の相談に対応する。	令和5年度より随時実施
⑥ナノデバイス研究所の設備を使用するための専任教員による技術指導	・学内の研究設備を使用するための方法について、希望に応じ必要な指導を行う。	令和5年度より随時実施